

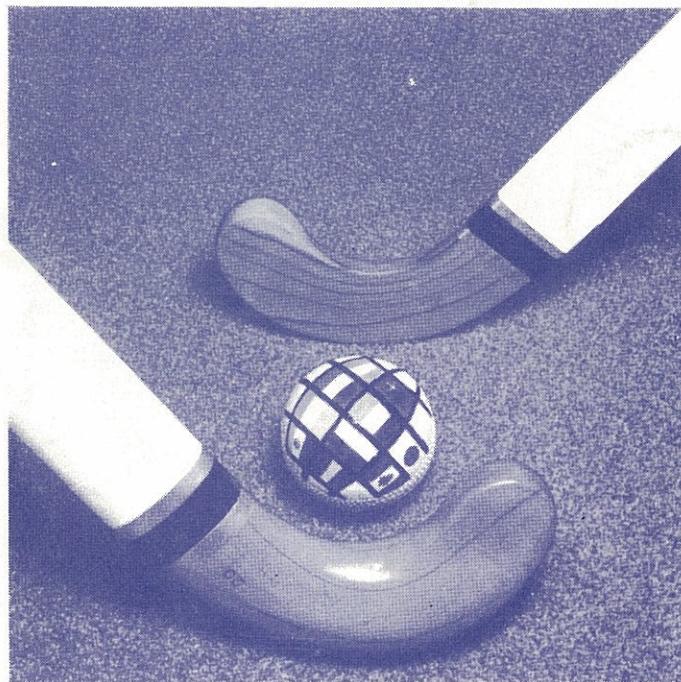
# HOCKEY

WASEDA

51<sup>ST</sup>  
ANUAL MATCH

K E I O

W



K

〈試合時間〉

高校戦 10:00 ~ 11:15  
超OB戦 11:30 ~ 12:35  
OB戦 12:40 ~ 13:55  
現役戦 14:40 ~ 15:55

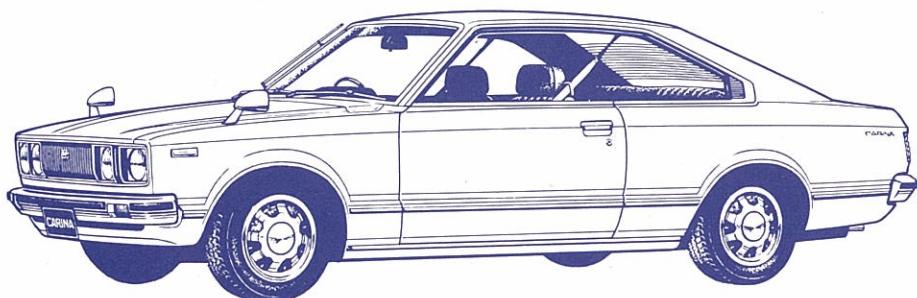
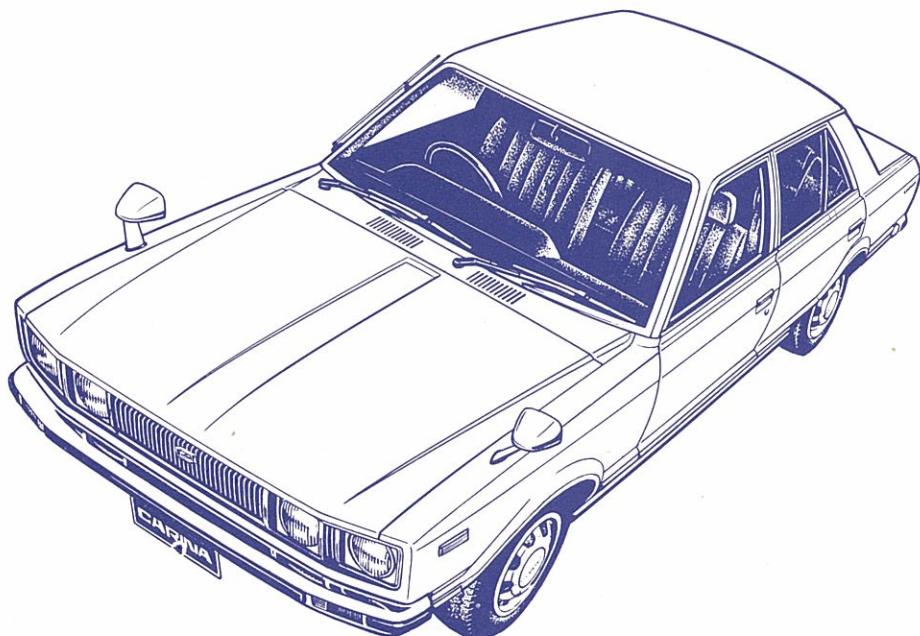
時：昭和52年11月20日(日)  
所：駒沢第1球技場  
(オリンピック記念公園)

主 催 早稲田大学ホッケー部  
慶應義塾体育会ホッケー部(幹事校)  
後 援 稲門ホッケー倶楽部・三田ホッケー倶楽部

# NEW カリーナ

---

1600・1800・2000



愛される車をめざして  
**TOYOTA**

早稲田大学ホッケー部  
部長 星 川 長 七

第51回早慶定期戦を心から祝します。良きライバルをもつことは、学問の世界においてもスポーツ界においても必要なことです。早稲田のホッケー部は慶應という良きライバルをもったために、幾多の名選手を生み出し、わが国のホッケー界の発展に貢献することができたと思います。このことは慶應についても言えることです。両軍の選手諸君、O B の皆さんのが築いた伝統をより輝かしいものにするために、また、わが国のホッケーの発展のために、本日は歴史に残る名勝負を開いて下さい。

スポーツにおける3つのFを言葉としてではなく、真に諸君が体得しているものとして！

稻門ホッケー倶楽部  
会長 飯 田 英 三

早慶戦ノ使命ハ互ヒニ母校ノ名誉ノ偽ニ一ヶ年ノ努力ヲブツケ合フ事ニ依リ、技術ノ向上ヲ願ヒ、チームワークヲ完成サセル事デアロウ。シカシ、ソレニモ増シテ大切ナ事ハ勝負ヲスル根性ノ強サデアロウ。

諸君ガ社会デ活躍サレル時、ソコニハ色々ナ戦ヒガアル。戦ヒノ基本ハ根性デアリ闘志デアリマス。ホッケーノ通ジテコウシタ闘志ヲ肌デ覚エテコソ一人前ノ人間ニナレルノデハナカロウカ。

諸君ハ早慶戦ト云フ華ヤカナ舞台デ、チームワークヲ覺ヘ闘志ヲ身ニツケル機会ニ患マレタ幸セ者ト私ハ思フ。

早慶相闘フ事51回ヲ迎ヘ内容ノ充実ニ心ヲ碎キ、悔ヒナキ青春ノ思ヒ出トシテ項キタイ。回ヲ重ネル事長キガ故ニ貴カラズ。闘魂ノ総テヲ燃ヤシ内容ノアル定期戦ガ出来マス様心ヨリ祈リ又願ッテヤマナイ。

心豊カニ力強ク闘ッテ欲シイ。

慶應義塾体育会ホッケー部  
部長 鶴 木 真

体育会ホッケー部の意気は、早慶定期戦にむけて、いやが上にも高まる。この時こそ早慶両大学の先輩に、現役選手の「たのもしさ」を、積極的に評価していただけるチャンスだからである。早慶両大学の選手諸君は、日頃の鍛錬の成果を、存分に出しあい、ホッケー界の伝統ある両雄として、立派なゲームを開催し、良きライバルとして、互いに練磨し合い向上する事を、望むしたいである。

三田ホッケー倶楽部  
会長 松 本 小 七

昨年、第50回の早慶定期戦を盛大に挙行致しまして、無念の余韻未ださめやらぬ中に、早や今年の早慶定期戦を迎えた訳でありますが、50年の歴史に新たな1頁を書き加えることが出来ますことを、皆様と共に心からお慶び申し上げます。

しかし、早慶両校から優勝校の出なくなつたのは誠に淋しい気が致します。

両校諸先輩方の暖かい御理解と、力強い御支援によって、格別な意義と闘志を以て受け継がれて参りましたこの早慶定期戦を更に盛り上げる為にも、両校学生選手諸君の奮起に期待するところまことに大なるものが御座居ます。

11月20日が好天に恵まれ、両校選手諸君が正々堂々と力の限り戦い、両校先輩諸兄が声の限り応援出来る好試合が展開されて、名実共に意義ある新しい第51回早慶定期戦であつて欲しいと心から念じるだいです。

# WASEDA MEMBER

部長 星 川 長 七

主将 国 兼 実

監督 高 畠 誠 二

主務 金 井 保 憲

(GK) 尾 崎 剛 敏 (3) 丹 生

穴 井 律 郎 (1) 早大学院

川 本 孝 司 (2) 伊 丹

(FW) 国 兼 実 (4) 丹 生

(FB) 戸 井 田 滋 (4) 早大学院

中 西 久 人 (4) 立命館

戸 塚 昌 由 (3) 早大学院

小 泉 光 市 (4) 早大学院

(HB) 渡 辺 健 司 (4) 早大学院

西 田 尚 信 (3) 早大学院

加々見 玄 幸 (4) 早大学院

吉 川 康 徳 (2) 川 棚

荒 井 喜 良 (3) 早大学院

斎 藤 剛 (1) 早大学院

清 水 克 己 (3) 平塚江南

小坂井 敏 晶 (1) 向 陽

古 島 修 一 (2) 早大学院

松 木 巍 (1) 国 分 寺



# KEIO MEMBER

部長 鶴木 真  
監督 内藤 修

主将 森山 大輔  
主務 正田 実

(GK) 内藤 貴詞 (3) 慶應

荻原 博 (1) 慶應

(FB) 森山 大輔 (4) 慶應

篠内 行雄 (3) 慶應

辻庸光 (3) 東教大付

鎌間裕 (3) 浦和西

星雅己 (2) 慶應

善木達明 (2) 慶應志木

岡本俊朗 (1) 慶應

斎藤幸広 (1) 慶應志木

(HB) 西村 豊 (4) 慶應

原口武夫 (4) 慶應

藤田一郎 (4) 慶應

中村清隆 (4) 慶應

伊吹洋二 (3) 慶應

桜町一雄 (3) 浦和

鈴木康正 (3) 慶應

内村宏 (3) 慶應

塩沢 裕晶 (3) 慶應

若井勝広 (2) 慶應志木

土井尚記 (2) 慶應

高木健次 (1) 慶應

宮田泰郎 (1) 慶應

織田望 (1) 慶應

(FW) 但中秀隆 (4) 慶應

青樹茂彰 (3) 慶應

大森文彥 (3) 慶應

豊田文章男 (3) 慶應

渡辺泉 (3) 慶應

松木利文 (3) 慶應

小池雅澄 (2) 慶應志木

野口敦正 (2) 慶應志木

中島康二 (1) 慶應志木

川崎隆 (1) 慶應

鶴巻二三男 (1) 慶應

乾伊作 (1) 慶應

腰本雅之 (1) 慶應



## 〈稲門ホッケー倶楽部〉

(GK) 竹村直樹 (46年)  
(FB) 小倉文雄 (46年)  
江黒孝 (50年)  
(HB) 鈴木俊 (42年)  
古田俊次 (45年)  
中原信義 (47年)  
藤井宗道 (48年)  
花山健次 (49年)  
後藤幸男 (52年)  
(FW) 佐野二郎 (39年)  
志沢輝和 (45年)  
早川憲雄 (46年)  
細山武 (46年)  
飯塚勇 (46年)  
伊藤隆男 (47年)  
藤井正二 (48年)  
児玉英治 (49年)

## 〈三田ホッケー倶楽部〉

(GK) 関根洋次郎 (52年)  
(FB) 小沢信吾 (44年)  
小川弘之 (45年)  
松本和男 (51年)  
(HB) 浅田純 (48年)  
重田定太郎 (48年)  
杉村義三郎 (49年)  
伊東良平 (51年)  
島田厚 (52年)  
藤田芳樹 (52年)  
(FW) 関谷淳一 (45年)  
杉村応二郎 (46年)  
重元明雄 (47年)  
高瀬宗救 (47年)  
田中健 (48年)  
玉置隆 (49年)  
高梨睦郎 (49年)  
松岡孝 (51年)  
吉田修 (51年)  
牧村光洋 (51年)

## 先輩諸兄のみなさまへ!!

平素、ご愛顧ありがとうございます。  
本年も、年の瀬を迎えようとしております。年末年始の  
贈りものは、ぜひコーディーコーナーの御進物品をご利用ください。  
お待ちいたしております。

●X'masパーティー、忘年会、新年会も準備し、お待ちいたしております。

レストラン・喫茶・フランス菓子

銀座 コージーコーナー

高田馬場店☎200-7165、都内直営各店、他全国有名デパート。

## 〈早稲田大学附属高等学院〉

部長 山田泰完 主将 森 樹  
 監督 高畠誠二 主務 高岡真琴

(G K) 田 場 茂 (3)  
 (S W) 千 代 裕 一 (3)  
 (R B) 田 瀬 弘 美 (2)  
 (C B) 稲 森 哲 (3)  
 (L B) 柳 下 真 朗 (2)  
 (R H) 丸 橋 大 介 (3)  
 (C H) 森 樹 (3)  
 (L H) 吉 田 曜 (2)  
 (R W) 竹 内 淳 二 (3)  
 (C F) 高 岡 真 琴 (3)  
 (L W) 広 畑 伸 雄 (2)  
 (SUB) 前 田 康 勝 (2)  
 佐々木 健 志 (2)  
 馬 場 吉 勝 (1)  
 白 石 治 二 (1)  
 原 聰 (1)  
 西 村 哲 也 (1)  
 小 川 一 郎 (1)  
 小 沢 順 (1)  
 佐々木 一 人 (1)  
 浜 部 浩 一 (1)  
 前 田 利 幸 (1)  
 久 津 名 正 人 (1)  
 清 野 剛 一 (1)  
 中 村 義 孝 (1)

## 〈慶應義塾高等学校〉

部長 藤森貞明 コーチ 藤田 芳樹  
 監督 内藤 修 " 関根洋次郎

(G K) 明 石 博 之 (3)  
 川 上 正 智 (2)  
 (B K) 安 藤 利 貞 (3)  
 安 西 浩 哉 (2)  
 (H B) 茅 野 雅 弘 (3)  
 吉 川 和 雄 (2)  
 岩 谷 十 郎 (2)  
 辻 本 昌 弘 (2)  
 (F W) 雨 宮 晋 一 (3)  
 堀 信 (2)  
 太刀川 善一郎 (2)  
 荒 井 佳 男 (2)  
 佐 藤 栄 治 (2)  
 三 嶋 修 一 (1)  
 松 山 昭 彦 (1)  
 師 岡 條 次 (1)

# 百年間がんこに三角一榮太樓飴



変わらない方がいいものだってあるのです。



早大主将  
国兼 実

## 〈早慶定期戦について〉

慶大主将  
森山 大輔

**司会** 「早慶定期戦について、両校主将は、どの様にお考えですか。」

**国兼** 「主力4年の最後の試合という事で、全員燃えていますよ。」

**森山** 「それは慶應も同じで、気分良く勝って卒業したいですね。春・秋リーグでは1勝1敗ですから、今回白黒をつけますか。」

**国兼** 「昨年、僕自身、P・Sをはずして勝ちを逃したので今年は是非勝ちたい！」

**森山** 「普段の試合と違って観客が多いのは嬉しいですね。」

**国兼** 「早稲田が、はじめてホッケーの試合をした時は、1万2千人も集まつたそうですよ。」

**森山** 「そうですか。今回はどの位集まりますかね。」(笑い)

**司会** 「伝統の一戦という事で、プレッシャーはあるわけですか。」

**国兼** 「確かに早慶定期戦は、リーグ戦とは違ったムードがあります。」

**森山** 「塾の体育会36部すべてそうですが、早稲田は他のチームと違って、そう好敵手というの



かなあ…絶対に勝たなくてはならない何か一本筋の通ったものがある。」

**国兼** 「早稲田も同じですよ。慶應戦は部員の気合いの入れ方が違うんです。」

**森山** 「この所、定期戦では慶應の方が分が悪い。ここらで勝たんといかんなあ。」

**国兼** 「いやー、過去を見ると慶應の方が勝ち越しているでしょう。早く逆転したい。」

**司会** 「早慶のライバル意識という事ですね。」

**森山** 「その通り。今年は卒業試合という意味でも大きいね。」

**国兼** 「リーグ戦優勝は逃がしたので、定期戦は頑張りますよ。」

**司会** 「それでは、定期戦を前にして何か秘策は？」

**国兼** 「早稲田としては、チームの和で行きたい。伝統的なホッケーをするつもりです。」

**森山** 「早稲田は守りのチームですからねえ、慶應はオープン攻撃で攻めまくりますよ。まあ腹を割っては話せませんがね。」(笑い)

**国兼** 「兎に角、悔いのない試合をします。」

**司会** 「どうもありがとうございました。」

## 戦いの記録

〔慶應より資料提供〕

年代	回	早稲田 対 慶應	年代	回	早稲田 対 慶應
大 13	1	2 —— 5	昭 26	25	8 —— 1
14	2	0 —— 3	27	26	0 —— 0 (引分)
15	3	6 —— 0	28	27	1 —— 4
昭 2	4	3 —— 1	29	28	3 —— 0
3	5	3 —— 4	30	29	2 —— 2 (引分)
4	6	6 —— 1	31	30	0 —— 7
5	7	1 —— 3	32	31	4 —— 4 (引分)
6	8	1 —— 0	33	32	3 —— 4
7	9	2 —— 4	34	33	1 —— 2
8	10	1 —— 3	35	34	1 —— 3
9	11	2 —— 3	36	35	3 —— 3 (引分)
10	12	3 —— 5	37	36	4 —— 0
11	13	2 —— 0	38	37	0 —— 1
12	14	2 —— 4	39	38	1 —— 0
13	15	2 —— 3	40	39	0 —— 0 (引分)
14	16	2 —— 4	41	40	0 —— 2
15	17	2 —— 3	42	41	2 —— 0
16	18	2 —— 1	43	42	1 —— 1 (引分)
17	19	1 —— 1 (引分)	44	43	1 —— 1 (引分)
18	20	1 —— 0	45	44	1 —— 3
19		} 戰時中の為中止	46	45	1 —— 1 (引分)
20			47	46	1 —— 5
21			48	47	3 —— 1
22	21	5 —— 2	49	48	5 —— 2
23	22	0 —— 0 (引分)	50	49	2 —— 0
24	23	0 —— 2	51	50	1 —— 1 (引分)
25	24	3 —— 4			慶大 23勝16敗11分

我が早稲田大学ホッケー部の歴史は、大正12年に喜多壯一郎先生を部長にいただき、故吉田先輩をはじめとし、岡本・千田・柳沢・小口・田口・井手・斎藤等諸先輩つまり、当時のスケート（スピードとホッケー）の経験者が中心となりフィールドホッケーを始めたのを源としている。当時は慶應義塾ホッケー部が日本ホッケー界の創始者であり、早稲田のホッケーは慶應の勧誘、指導により開始されたものである。以後我が早大ホッkee部は全日本選手権など多くの大会において幾度も優勝をなした。殊に昭和11年の全日本選手権においては、戦前の予想では、優勝候補の一角にも名前が挙げられていなかつたにもかかわらず、信州での20日間にわたる強化合宿を行い戦前の予想をくつがえし見事優勝を飾った。近年では、昭和44年第18回全日本大学選手権に優勝した。早大は、戦力的に一步譲る天理大に対して個々のプレーヤーがチームプレーに徹したことと、その中から生み出した2回のペナルティー・コーナーを2度とも得点した執念は、見事なものであった。しかし、これ以後我がホッkee部は関東学生リーグの一部上位に位置しているものの、全国大会での優勝から残念ながら遠ざかっている。

本年の春季リーグ戦においては、4位と今一つ実力を発揮できずに終つたが、本年のチームは、近年になく4年生が7人と多く、よくまとまり、秋期リーグ戦に向けて練習に励んでいる。

### ◆部員

現在40名の部員があり、その中経験者は20名と、半数を占めるに至っている、又、我々には日吉校・志木校・普通部のホッkee部という弟がいる。彼等を育てて行けば、3年・6年とキャリアを持つ選手の入部はまちがいなく、受験難により全国高校から経験者の入部が零に等しい傾向からして、これは実にたのもしい事である。我々も、彼等の強化に力を入れている。

### ◆練習

火曜～金曜までは3時、土・日・祭日は1時頃から、日吉ホッkee場にて練習している。シーズン前には、二部練習・レギュラーハーフ宿なども行なう。休日には、必ず内藤監督をはじめ、多くのOBの方がいらっしゃり、ステイツクを持ち、ユニホームに着換えて、我々を指導し激励して下っている。山中湖での夏合宿においては、OBチームが二つも組める程である。

### ◆試合・行事

3月 春合宿(日吉)・4月 ホッkeesカーニバル(日吉)・4月～6月 関東大学春季リーグ戦・8月 夏合宿(山中湖)・全日本学生選手権・9月 ホッkeesカーニバル(日吉)・9月～10月 関東大学秋季リーグ戦・11月 関東オープントーナメント・早慶定期戦・対甲南大学定期戦

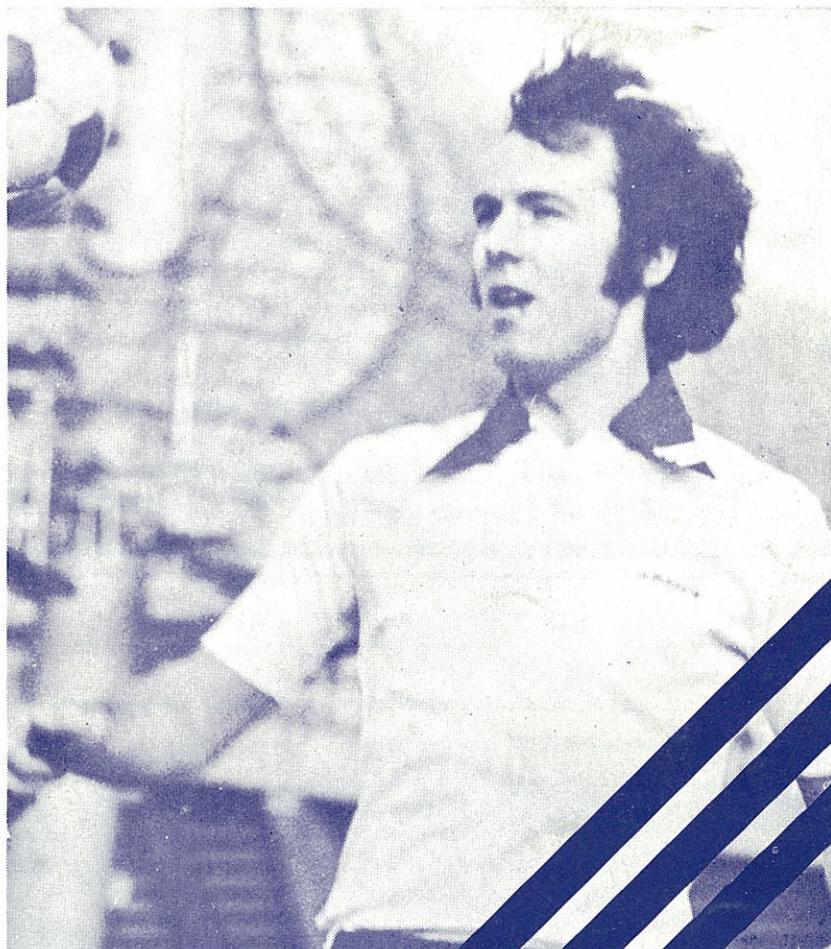
### ◆戦績 (10月19日現在)

6勝4敗2分 得点28 失点15

近年我が部は、優勝という二文字から遠ざかっている。これは現役として誠に遺憾である。兎に角、我々は優勝を目指し、これを勝ちとらなくてはならない。

スポーツは生きる歓び

# 勝利を呼ぶ3本線



  
**adidas**  
アディダス  
スポーツウェア

Made under Adidas license

この製品は西独アディダス社との技術提携により、日本で製造しました。

日本総発売元/株式会社デサント